



2020年8月12日

各 位

会 社 名 株式会社プロスペクト
代表者名 代表取締役会長 藤澤 信義
(コード：3528 東証第2部)
問合せ先 総 務 部 長 竹谷 治郎
(T E L : 03-3470-8411)

営業外収益（受取配当金）及び営業外費用（持分法による投資損失） 並びに特別損失（出資金評価損）の計上に関するお知らせ

当社は、2021年3月期第1四半期連結会計期間において、営業外収益（受取配当金）及び営業外費用（持分法による投資損失）並びに特別損失（出資金評価損）を計上することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外収益（受取配当金）の内容

当社は、当第1四半期連結会計期間において、受取配当金84百万円を営業外収益に計上いたします。この内の71百万円につきましては、2019年9月26日に、連結子会社であるThe Prospect Japan Fund Limited（前連結会計年度において解散、清算済。）から移管した上場有価証券からの配当金を、2020年6月29日に受領したものであります。

なお当該上場有価証券については、当第1四半期連結会計期間において、その一部を売却済であります。

2. 営業外費用（持分法による投資損失）の内容

当社は、当第1四半期連結会計期間において、持分法による投資損失2億97百万円を営業外費用に計上いたします。これは、ロシアにおける持分法適用関連会社（RFP Wood Pellets, LLC）の業績報告等に基づき計上したものであり、当該会社の業績悪化の主な要因は為替相場の変動によるものであります。

3. 特別損失（出資金評価損）の内容

太陽光発電事業における一部の出資金について、当初想定していた収益計画の不確実性が高まり、投資の簿価の回収見込みは低いと判断した結果、4億87百万円の出資金評価損を計上いたします。

4. 連結業績に与える影響

上記の受取配当金及び持分法による投資損失並びに出資金評価損は、本日公表の2021年3月期第1四半期連結決算において営業外収益及び営業外費用並びに特別損失に計上いたします。なお、2021年3月期の業績予想については、新型コロナウイルス感染症の影響を現段階で適正かつ合理的に算定することが困難なことから、予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

以上